

# 鐘の音



和温泉「華やぎの章慶山」へと向かいました。車中は、参加者がそれぞれ自己紹介をしながら、旅行ならではの交流を深める場となりました。(例会では、産経スポーツの安田百合子氏、アイシーエヌ株の羽山巳津男氏をお迎えし、小江戸川越マラソンの概要から意義を説明頂き、その後、実行委員会より準備の進捗状況の報告を頂きました。

この研修旅行を企画するに至った経緯としては、青年部が発足して五年という節目の時期を迎えるに備えて意識統一を図る思いからです。また本年十一月二十八日に開催予定の「小江戸川越マラソン2010」を成功におさめるため、運営の中心となつて各メンバーが地区を越えて全体で動き取り組もうという背景もあります。これまで以上に、地区を越えての更なる交流、情報交換を行える場を演出できたらという観点で立案しました。

第十九回 交流会報告  
「青年部設立五周年事業  
石和温泉一泊二日研修旅行

私ども南部地区は本交流会開催にあたり、準備の段階から集まりの場を増やし、會議を繰り返しました。そこで試行錯誤をし、結束力を高めた気がします。各地区とう小単位から青年部という単位に拡げ、この単位をより強い大単位として高めていけば、「小江戸川越マラソン2010」の成功へ結びつけられるのではと思います。今回の場をきっかけにして、是非ともマラソン大会の成功を実現させましょ

懇親会においては宿泊先の大宴会場に舞台を移し、青年部間での情報共有の場となり、盛んに交流がもたらされました。また、南部地区らしさを出した余興も無事に終える事ができました。このようなスタイルの宴会も一泊だからこそできたものではないでしょ  
うか。

二日目は、晴天にも恵まれ、山梨のワイン工場やハーブ庭園などを見てまわりました。また、昼食にはバーベキューを楽しみました。案内人の懇切丁寧な説明を聞き、その土地の良さを生かした取り組みを学びました。寝食を共にす  
ることで、一体感や結束力がさらに深まります。まつといつたと思つ

記事 南部地区 松本

有限会社 くらづくり本舗  
中野 英幸(なかの ひでゆき)さん  
中野 正剛(なかの まさたけ)さん



会員の皆様、平素は当店はじめ私どもへのご指導、ご支援を賜り、誠にありがとうございます。当店は創業明治二十年より川越の地でお世話になつております、和生菓子製造販売の『ぐらづくり本舗』と申します。よろしくお願ひ申し上げます。



去る六月十二日～十八日の一週間、川越商工会議所創立一一〇周年記念事業として行われた「オツフエンバツハ商工会議所友好盟約締結一一〇周年記念『ドイツ経済視察団』」に、青年部から、清水副部長と岩堀幹事の二名が参加しました。団長の斎藤会頭と、クルートオツフエンバツハ商工会議所会頭は、今後ともビジネス交換研修生プログラムはじめとする両商工会議所間の交流を今まで以上に充実させましょうという旨約に調印しその意思を確認いたしました。

- 今回の交流会、特に南部地区の皆様大変お疲れ様でした。

懇親会での寸劇の演出監督を勤められた加島さんを始め皆さんのが鬼気迫る?演技に、サンケイスポーツの安田部長様やICN羽山様も大変喜ばれていました!

そして、終始和やかに進行されていた松本さんや本多さんのお蔭で、青年部初めての研修旅行も全員無事にそして大変思い出に残るものとなりました。この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。

帰りのバスでは、皆さんぐっすりとお休みになられていきました。

ところで、朝犬の散歩をしていたら、H事務所のH野さんが汗びっしょりで走つていらつしやいました。十一月のマラソンに向けて準備を始められているんですね!!